

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270400821		
法人名	株式会社 武上		
事業所名	グループホーム ノーマライ心の花御成		
所在地	千葉県若葉区下田町1263-56		
自己評価作成日	令和3年3月9日	評価結果市町村受理日	令和3年8月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生1107-7		
訪問調査日	令和3年3月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・法人の理念である『明るく楽しく笑顔で共に暮らす そして人として心の花を咲かそう』を、スタッフ一人一人が理解し、体現に努め、入居者様に対する日々のケアに従事している。入居者様の笑顔を引き出す事は基より、事業所名にもなっている『ノーマライゼーション』の由来のように、障害の有無に関わらず、入居者様お一人お一人のペースに合わせ、入居者様に寄り添いながら、これまでの生活を出来る限り継続していけるよう、日々のケアを提供している。家庭的な雰囲気の中で、入居者様とスタッフの顔なじみの環境を大切にし、その方々の認知症症状に合わせた、柔軟に想いに寄り添うケアを心掛けています。事業所を開設し、約17年が経過し、ご本人・ご家族様の希望に合わせ、看取り対応も行っており、自然な最期を迎えられた方もおられる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『明るく楽しく笑顔で共に暮らす、そして心に花を咲かそう』を法人の理念に掲げ、入職時は下より、日々のケア会議や業務内で管理者、職員はその理念を共有し、都度立ち返り、実践・体現に努めている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として自治会に加入し、コロナ禍に至る以前は、地域の夏祭り、敬老会等の行事があれば参加していた。地域行事に出向き参加する機会を積極的に創設する事で、地域住民の方との交流を深めている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	掲示板を活用し、地域住民の方に事業所の情報提供を行っている。また、認知症初任者研修を新たに取得した職員を中心に、これまでの経緯を通じて得た認知症の方の理解や支援方法等を、コロナウィルスが終息後、いつでも地域の方々にに向けて広げていけるよう準備を整えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	入居者様、ご家族様を中心に、民生委員、地域住民、地域包括支援センターの方々から頂戴した忌憚なき意見を積極的に取り入れ、随時改善に努めていく事で、ケアの質の向上や意識改革に取り組んでいる		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政担当者との情報共有を適宜密に図ると共に、運営推進会議やその他必要に応じて、入居者様の立場に立った意見等を地域包括支援センターの担当者に伝えるように努めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や日々のミニ会議を通じ、入居者一人ひとりに合わせた個別ケアを日々行うと共に行動を妨げないよう、玄関の施錠は勿論、言葉のかけ方等も日々気を付けているが、全職員の体系的な理解には乏しく、引き続き教育を積み重ねる必要がある。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は虐待防止の資料を基に定期的に意識付けを図ると共に、カンファレンスにて日々のケアを振り返りながら予防に取り組んでいる。また職員間もストレスが溜まらないようコミュニケーションを積み重ねている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者研修等により十分に理解し、該当者が必要時に、必要なサービスを活用出来るように支援体制を整えている。一方で管理者以外の職員の理解は不十分である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に施設見学を重視し、また契約時のみならず、必要に応じて入居者様やご家族様が理解されるまで十分に説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やSMSを中心としたコミュニケーションツール等を活用し、情報発信を行うと共に、日々のコミュニケーションを密に図る事で、忌憚なき意見を頂戴し、事業所運営に反映していけるよう取り組んでいる。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々のミニ会議を中心に入居者様のケアについて向き合うだけでなく、常日頃から職員とのコミュニケーションを重視し、意見・要望・提案等を吸い上げ、より良い事業所運営に繋げるよう努め、反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員それぞれの勤務態度、就業意欲・実績等を考慮し、管理者と打ち合わせる事でそれらを適正に評価し、各々がやりがいや向上心を持って働けるような職場環境の整備・構築に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は内部研修のみならず外部研修の機会を積極的に設ける事で、職員の能力を伸ばせるように人材育成に努めている。また個人のスキルアップを図る為、早期の適材適所への異動や昇格を行いながら、実践力を磨けるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ感染症対策の為、相互訪問は難しいが、ネットワーク作りが出来るよう、同業者のみならず、医療等の隣接業者との交流の機会を設けている。子会社が薬局を開局したことにより、より隣接業者との交流も増え、サービス向上を図っている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の不安を軽減を最小限に出来るよう、初回面接を含む介入時から入居者様及びご家族様に積極的に情報収集や傾聴を行い、ニーズ等の把握に努める事で、安心して暮らせるような環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面接を含む介入段階からご家族様と連絡を密に取り合い信頼関係の構築に努め、不安の軽減等に繋げられるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学や入居前情報を頂きながらご本人のADLや認知症状の状況を再確認し、現況のご本人様の状況に合ったサービス提供に繋げられるよう、ニーズの把握・アセスメントを実施し、適正なサービスに繋げている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させて頂くという姿勢を大切に、時には職員が入居者様に甘えたり、相談したりと喜怒哀楽を出しながらお互いが家族のような関係になれるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ビデオ通話や電話等、ご家族様と会話できる場を設けたり、モニタリングや日々の様子の写真を御家族様に送付しながら今後のケアについて相談させて頂き、共に考え支援させて頂く関係作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍にあり、面会謝絶にはなっているが、馴染みの人や関係者が来訪しやすいよう、御家族様から情報収集をしつつ、職員が関係構築・継続に努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	小さな出来事も職員間で情報共有し入居者様の個性に合わせたコミュニケーションを取り、入居者様同士が仲良く生活できるよう支援している。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院に伴いサービスが終了した際は面会に行ったり、状態把握に努めたり、また退所時に今後の事も含めた支援や困った際の連絡先として情報提供及び「気軽に相談してください」との言葉かけも行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々会話しながらご本人様の思いや意向を確認し、モニタリングや諸連絡を取り合う際にご家族様の要望も確認し、ご本人様にとって必要な支援を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人、ご家族様から生活歴や暮らし方を確認しアセスメントシートに記載したり、入居後も得た情報を随時追加し職員同士も共有しその人らしく生活する上での基盤となる為情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ミニ会議やその日の申し送り等、職員同士意見交換を行いながら一人一人の現状把握に努めている。また直接ご本人様に確認したり、申し送りノートの活用やバイタル測定表を確認し体調の確認にも努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族様にその都度要望を確認し計画書に記載したり、申し送りやミニ会議にて現状に即した支援に取り組んでいる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランの実施記録と共に日々の様子や変化をケース記録に入力したり、申し送りノートに記載し、情報共有やカンファレンスの材料とし支援の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様、ご家族様と連携を密に取り合い、必要に応じて柔軟な対応を行っている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の子育てリラックス館のクリスマス会や運動会に呼んで頂いていたが、今年度は感染予防の観点から参加できていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人とご家族様の希望に応じ、入居前からのかかりつけ医に受診している場合も受診に同行し連携を図っている。特に希望が無い場合は、定期的な訪問診療だけでなく、何かあれば24時間体制で適切な医療を受けられるように支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日々の様子を観察し、何かあれば些細な事でもすぐに看護職員へ相談し、入居者が適切な受診等を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際には病院との連携を図り、安心して治療でき早期に退院できるよう、情報交換や関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際にターミナルケアについて説明し、希望があればその時々状況に応じて、ご家族様と相談しながら本人の意思を尊重したケアを行っていくことを目指している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命講習を受けると共に、ミニ会議等を通して定期的に勉強会を行う事で急変や事故発生時に備えて訓練している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防訓練を実施し災害時にも対応できるようにしている。また地域の消防訓練に参加したり、地域の方にもホームの訓練に参加して頂くよう促している。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として一人一人尊重した言葉かけやプライバシーに配慮した対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	些細な事でも選択肢を設けたり、ご本人様にその都度確認し自己決定できるように働きかけをしている。また要望があった際はご本人様の気持ちを尊重し対応を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食時と9:00頃に本日のスケジュールを入居者様にお伝えさせて頂き、入居者様の気持ちを優先に考え時間調整を行ったり、レクリエーションを考え、入居者様との時間の流れを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着るものは自身で選ばれている為、早朝や更衣時・天気や温度を伝えたり、行事がある時は行事内容を伝えている。また、レクリエーションの中で爪のマニキュア等行いおしゃれを楽しんで頂いたり、雑誌や会話を利用し楽しい時間作りを支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新聞や広告を利用し食べたいものを伺ったり、一緒に準備や片付けの協力を頂いている。また、季節に合った食材の提供や料理をしていただき季節感を味わって頂いている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態や嗜好を把握し、食事量・水分量の把握や1日の必要な栄養の確保や水分の確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後できる限り口腔ケアを行っており、夕食後は義歯の洗浄を行い支援させて頂いている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ほぼ自立した方ばかりだが、一人一人の排泄パターンを把握し、失敗してしまった際はすぐに対応できるように常に見守りに配慮している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝、牛乳の提供や水分補給を心掛けたり、ご本人様と相談しながら医師の指示の範囲内で「下剤の調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的に週2回同じ曜日、同じ時間帯に入れるように支援しているが、ご本人様に確認しその都度変更を行っている。入浴拒否される際は言葉かけの工夫や職員の変更を行い支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	移動は自立の方ばかりの為、自由に居室に戻られ休まれており、最低1日2回は居室の環境確認や整備を心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が一人一人の服用している薬について理解できるように資料などを作成している。また症状に合わせて服薬できるように日々の観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の会話やレクリエーションの様子を通してプランに添いながら得意な事をなるべく行って頂けるように支援したり、筋力維持の為、散歩や掃除の協力を行うと共に役割作りを心掛けている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人一人その都度確認しながら、雨天以外はなるべく散歩に出かけられるように支援している。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にお金の管理を行って頂くことを基本にしている為、ご家族様とビデオ通話や面会時に通帳の確認をして頂いている。また必要なものの購入依頼があった際は代理購入し対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があればその都度対応をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に即した壁面飾りを毎月レクにて作成し飾ったり、快適に過ごせるように天窓の開放や掃除を密に行い気持ち良い環境作りを支援している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあう方と自由にお話ができるように椅子を余分にセットしたり、お茶を提供し楽しく会話して頂ける雰囲気作りを行い支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には自宅で使用していた家具等を持参して頂き、生活に合わせてテレビやラジオを置いたり、写真や思い出の品を飾って頂いたり、ご本人様が居心地よく過ごせるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の力量に応じて安全に自立した生活が送れるよう家具の配置を工夫し、歯磨きセットや洗剤等安全に配慮しながらも自由に行える環境作りを心がけている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと